

民生福祉常任委員会審査日程

日 時 平成30年6月4日(月)
午前10時
場 所 第1委員会室

～審査内容～

所管事務調査 出合保育所再編問題への対応について（子育て支援課）

様式第1号 (第3条関係)

平成30年4月16日

山陽小野田市長 あて

団体名称 出合地区自治会協議会

申込者 代表者名

所在地

電話番号

山陽小野田市まちづくり懇談会開催申込書

まちづくり懇談会の開催を次のとおり申し込みます。

参加者人数	() 人
項目	次の項目のいずれかに○をご記入ください。 (1) 市政に関すること (2) 上記以外の市の重要な事項に関すること
テーマ (原則1件とします。)	出合保育園の統廃合について
テーマの具体的な内容	

(参考)

1 開催希望日時

第1希望 年 月 日 () 午前・午後 時

第2希望 年 月 日 () 午前・午後 時

第3希望 年 月 日 () 午前・午後 時

2 開催希望場所 出合公民館

第1希望場所 ()

第2希望場所 ()



山陽小野田市長 藤田 剛二 様

安心して住み続けられる出合のまちづくりに向け

市長と出合校区住民との懇談会開催について（要望書）

春暖の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

2 月にはデマンド交通など中山間地でも安心して住み続けられるための公共交通の要望について直接対応して頂き、その後の政策でも前進が伝えられ嬉しく思っています。

ところが3月議会の新年度予算で出合保育園など山陽地区3保育園を廃止し、厚狭駅南部に統合保育所を新設するための高額予算等が賛成多数で議決されました。

出合保育園廃止を全く知らなかった地区民の声で議会審議直前に市議会へ市民懇談会を申し込み、4月13日に民生福祉常任委員会7名全員、デマンド交通に関して産業建設常任委員会正副委員長など3名、合計10名のご参加を得て開催出来ました。

懇談会では「説明会案内は廃止等の記載も無い班回覧だったので誰も見た記憶はない」「保育所再編基本計画は住民の声を全く聴かず執行部だけで作成」「その説明会は廃止対象の出合地区では開かず厚狭地区複合施設」「複合施設での説明会参加者14名の内、出合地区や下津地区参加者について主催者は把握すらしていない。出合地区からは別途案内で参加した地区協議会会長以外0の可能性」「同じく廃止対象の津布田地区での説明会参加者は4名」等々、市政の重大案件にも関わらず校区民無視でどんどん進められた執行部の提案及び、それをチェックすることが出来なかった議会に対し、自治会協議会会長名による開催案内の班回覧で集まった50名以上の地区民からは10名以上の方々から次々と怒りや質問、真剣な訴えが出されました。しかし議員からは「執行部にしっかり伝える」としか対応出来ず2時間の懇談会は一応閉じました。そこで参加者の多くから議会も大切だが市長と直接懇談の場を設定して欲しいとの要望が強くあり市長と校区住民との地元での懇談会開催申し入れとなったものです。ご多用の事とは存じますがよろしくお願い申し上げます。

平成30(2018)年4月16日

出合地区自治会協議会

会議録要旨

会 議 名	まちづくり懇談会（出合保育園の統廃合について）
開催日時	平成30年5月15日（火） 18時00分～20時10分
開催場所	出合公民館 講堂（2階）
参加者数	出合地区自治会協議会（出合校区住民） 35名
市出席者	岩本福祉部長、兼本福祉部次長兼高齢福祉課長、 桶谷福祉部次長兼国保年金課長、川崎子育て支援課長、 別府子育て支援課課長補佐、 藤山市民部次長兼市民生活課長、亀崎市民生活課課長補佐
懇談会次第	1 開会あいさつ 2 出席者紹介 3 テーマの趣旨説明 4 テーマについて説明 5 意見交換 6 閉会あいさつ
懇談会結果	1 開会あいさつ 2 出席者紹介 3 テーマの趣旨説明 ○テーマの趣旨について、出合地区自治会協議会 [REDACTED] より説明された。 先日、議員の皆様に来ていただいたときに、市の職員にも話を聞いた方がいいのではないかとということになった。議員と執行部の案内をしたところで、私の役目を終わらせていただきたいと思う。執行部の話を聞くことにより、皆様方に多く知ってもらい、参考にしてほしい。 4 テーマについて説明 ○公立保育所の再編について、別府課長補佐より説明した。 5 意見交換 ○出席者 基本計画は、庁内のどのような組織で決めたのか。出合校区の

人が知らないところで決めたことにひっかかっている。なぜ校区の公民館や自治会で説明会をしなかったのか。新たな保育園の場所は、県が作成した防災マップによると、50年に1回であるが、軒下まで（2m以上）くるとある。

◆川崎課長

保育所の再編については具体的に平成26年から関係する課で、複数回協議を行い、策定した。保育所は公共施設ではあるが、市民の誰もが利用できるというものではなく、保育が必要な児童を保育する施設であり、地域の皆様の意見で決めるというのではなく、市が主導権をもって決めさせていただくものという認識をしている。市が計画（案）をつくり、市内の子育てに関係する市民団体の代表の委員、公募で選ばれた委員で構成される子ども・子育て協議会で再編の案を説明し、意見聴取した。それを踏まえ、修正すべき箇所は修正した後で、関係する保育協会、市議会の担当委員会に計画（案）を説明し、その後決定した。決定後に市民に説明義務があるので、住民説明会、保護者説明会を開催し、計画について説明した。

○出席者

広報では、出合から保育園がなくなるなど予想できなかった。知らないままに話がどんどん進んでいた。心外である。

◆川崎課長

保育園再編説明会は、保護者への説明を第一と考え、開催した。住民説明会は、中学校区で1箇所とし、出合地区・下津地区をあわせて厚狭中学校区ということで厚狭地区複合施設で開催した。周知の方法は、班回覧とともに広報紙にも掲載した。水害については、建設予定地の厚狭駅南部地区は、平成21・22年の水害を受けて県に働きかけ、川づくり計画を県が策定し、必要な改修は概ね完了している。具体的には、川の拡幅、掘削、ポンプを1台から3台に増設し、21・22年と同程度の水流があった場合でも、浸水が起こらない対策はされている。ハザードマップについては、50年に一度の水害を予想したものであるが、改修前の段階で判断

したものである。

○出席者

大水が出たとき、相当浸かる。あまりにもひどい。保育園に140人の子ども、0歳児、1歳児もたくさんいる。とんでもないことになるのではと心配だ。結果的に出合保育園が一番いいのではないかと思っている。

○出席者

子どもが病気になると迎えに来てくれと保育園から連絡が入る。しかし、両親は共働きで行くことができない。祖父母は今なら近くであり、迎えに行くことができるが、予定地の厚狭までは行くことができない。出合保育園であれば、出入り口も広く、これほど安全な場所はない。

◆川崎課長

出合保育園の近辺に住んでおられる方については、不便になると思われる。しかし、園児は、各地域から入園しており、ほとんどが車で送迎される。駅南は、主要道路・バイパスに近く、送迎の利便性はよいと判断している。想定外の水害に対して、出合と下津の間でハザードマップに塗られていない場所で、建設に必要な4,000㎡程度の土地を探すというのは難しい。市有地を優先としていたが、困難なため、公社の土地を購入することとなった。想定外の災害に対しては、保育園で危機管理マニュアルを策定し、毎月園児の避難訓練も実施しており、今後も続けていく。

○出席者

山陽小野田市の活性化は、地域の活性化も意味する。何もかも一緒にして、市の経費削減のためにやっているとしか思えない。

◆川崎課長

公民館行事に園児が参加したり、地域の皆様が園の行事に参加したり、相互の交流があることは、聞いている。駅南の整備は、市の財源の効率化に加えて、保育士不足も大きな要因である。園

を統廃合することにより、保育士を効率よく配置できる。老朽化している5つの園をすべて建て替えることは、莫大な経費もかかる。子どもたちの良好な保育環境を整備することをまず前面に考え、この再編計画が出来たことは、理解いただきたい。地域の活性化については、今後関係課とも協議していく。駅南に整備しても、園児たちがこの公民館活動に参加できるような施策はぜひ考えていきたい。

○出席者

出合校区は、山野井工業団地、ゴルフ場をもった地域である。もう少し、活性化してほしい。

○出席者

資料には、子どもたちが安心安全に過ごすことができると書いてあるが、何を根拠に言っているのか分からない。大雨で厚狭川が氾濫して浸かったが、あんな低いところに建てて、毎年梅雨時期に大雨が降ったときに、また氾濫しないかと心配で心配でたまらない。仕事がありすぐには行けない。納得できない。

◆別府課長補佐

平成 21、22 年の水害の後、厚狭川、桜川、大正川で堤防のかさ上げ、河道の拡幅、川底の掘削、ポンプの整備等を行い、今月末に河川改修工事が終わる予定。平成 22 年の大雨では、総雨量が 588mm であるが、河川改修後は同じ雨量では浸水しない対策がされた。

○出席者

一番浸かるのが丸喜のところだ。毎年ではないが、よく浸かる。道も浸かる。今は 100mm 以上降るときもある。18m のところから 5m のあんなところに 140 名の子どもをなぜ集めるのか。とんでもない。県の回答を明確にしてほしい。絶対に大丈夫、100年に1回も浸からない話なら別であるが。あそこは全部浸かって2階にしてくれという話があったが、保育はいつも2階というわけにはいかない。ここが一番よい。

◆別府課長補佐

すべての園を建て替えできれば一番良いと思うが、現実的には難しい。場所の選定については、保育所の再編整備に必要な4,000㎡の土地が他にはなかったことや総合的な判断で決めた。

○出席者

市が決定したことであり、撤回できないと思っている。出合保育園の廃止の根拠は、児童数、将来人口の減少予測が大きな要因と思うが、厚陽保育園は、最初から存続ありきだったのか。厚陽地区は、児童数や将来人口の減少はないのか。「厚陽は施設が充足している」とあるが、厚陽保育園はどこが充足しているのか。建設予定地がなぜ水没するところ、地価も高いところをなぜ選んだのか。厚狭駅周辺まちづくり構想の計画の中に、なにか施設を作らなければならないという考えがあるのではないか。すべて想定外の災害がある中で、普通の災害で水没するような所に建てなければならないのか。萩原は市の土地ではないか。出合地区の貢献度も考えてほしい。人口は減っているが、雇用の場として山野井工業団地、大企業が何社も入っている、雇用の場もつくっている、3つのゴルフ場がある。どれほど税金が入っているのか。その税金をなぜ公平・公正に使わないのか。厚狭地区・保育園統廃合はおそらく出合小学校廃止の序曲、出合地区を厚狭地区にすべて統廃合したいそういう野心が見られる。個人的には撤回してほしいが、それは無理だと思っている。

◆川崎課長

当初は山陽地区の4園を1園にするという案もあったが、1園にするとあまりにも大規模な園になってしまうことから2園となった。厚陽を当面残すことについては、4月1日現在、厚陽保育園51名のうち、厚陽地区の住民は21名、約半分の24名は小野田地区から通う児童である。厚陽保育園を継続する理由としては、小野田地区と厚狭地区の中間点にあり、小野田地区の需要も受け入れることができることと、施設面積が大きく充足していることである。厚陽については、当面存続するが、今後将来の保育

需要によって、残すのか廃止するのか先で検討すると計画にうたっている。想定外の災害については、危機管理マニュアルを作成し、十分な避難訓練を行っていくということに力を入れる。萩原団地の跡地は、面積と交通の利便性という問題がある。交通の利便性は、保護者の意見を聞く中でも重要だと思っている。出合地区について、市として出合地区をないがしろにしたつもりは毛頭ない。保育園がなくなるから小学校もなくなるという視点で、再編計画はつくっていない。子どもたちの良好な保育環境の整備のため、また様々な問題を解決するために、適切な場所として決定したことを理解してほしい。

○出席者

あそこは電車のそばであり、音対策はどうか。聞こえるのか。

◆川崎課長

新幹線は高い位置にレールがあり、騒音については、それほどひどいものではないと認識している。

○出席者

あの下に炭坑があったところ、下に水があると思うがなくなっているか。陥没とかの恐れはないのか。

◆別府課長補佐

今後、実施設計と並行して地質調査も行い、その結果、必要な対策については行いたい。

○出席者

保育園を改修して、他の施設に使うということも聞いているが、改修された場合は、どのくらいの期間使うのか。

◆川崎課長

保育園の跡地利用については、市の関係課で、今後協議を進めるところであり、方針はまだ決まっていない。

○出席者

保育園の園児のためというより、この土地は決定事項で、ここでいろいろな危険性などの議論をしても変わらないところまで話が進んでいるのか確認したい。

◆別府課長補佐

山陽地区に新設する保育所の建設予定地については、複数の候補地について、メリット・デメリットを比較検討したが、安全・快適な保育環境を少しでも早く整備するためには、交通の利便性や自然環境等の面から、厚狭駅南部地区が最も適していると判断したためであるので、御理解いただきたい。

○出席者

答えになっていない。山陽地区に適切な保育園がいる。2園がいいのか分からないが、少なくとも出合地区は公民館もあり、小学校も昔からあり、60年以上前から保育園・幼稚園もあった。安全面を考えて、まちづくりのこと、出合地区、山陽小野田の全体を考えてここを撤去することは、議会で決まったかもしれないが、そのへんの議論がないまま、多数決で決まった。愕然とした。もっともっとみなさんの声を大事にして、持ち帰って検討してほしい。特に新しい市長に。この1月は前市長だから新しい市長に当然引き継がれていることと思う。保育園については、私は撤回してほしい。

◆藤山部次長

意見としてでよろしいか。

○出席者

はい。

○出席者

今日の目的は、私たち地域住民の陳情を理解してほしいということで、みなさんそう決めましたよね。それと前の集まりで、私たちがいろいろな意見を言ったのは、議会に対して議会のチェッ

クがなされていなかったから、知らない人が多かった。私たちは現実に知らなかったの、それではいけないから、市長においでいただいて、出合地区の住民がどのようにこの現状を思っているか、私たちの心情を理解してほしい。そもそも地域住民の理解と賛同をどこでどのように得られたかというところだ。水害とかいろんな問題について、今後検討します、今後マニュアル化します、跡地利用についても、今後検討しますと言われた。そういった覆せないことを何が何でもではなく、どこか折衷案とか私たちの想いを分かっていたきたくて、お願いしている。だから、みなさんの想いは、各々述べられたので非常にお分かりになったと思うが、その50年に1回、100年に1回だが、マニュアルをつくっていればいいでしょ、という問題では、あまりそういうこともないのかなというところはある。私たちが心配しているのは、出合保育所がここにあるから、栗田の人が花壇をつくったり、手入れに来たり、出合公民館で行事があるから、みなさんがここを行き交う。駅南に行くことは、覆せないかもしれないが、それを市役所のお力で御理解いただいて、うまいぐあいにできないものかと思わないか。

◆岩本部長

貴重な意見をいただき、ありがとうございます。当初からいろんなご意見をいただいております、耳の痛い思いをしています。説明不足の点があったかと思うので、少し説明させていただきたいと思う。繰り返すところもあるが、ご了承いただきたい。保育所については、小学校と公民館を比較の対象とされるが、そういった施設とは違うことを理解していただきたい。保育所は、子どもたちとその保護者の利益を最優先として預かる施設である。地域活性化の施設ではない。そこは理解していただきたいと思っている。活性化の問題、確かに今ある施設が無くなることについて、喪失感もございませうし、影響が出るのではないかという心配の声もいただいた。確かにあるだろうと思います。市としては、市全体の利益を考えなくてはならないということがある。確かに施設がなくなることは、つらいことかもしれない。実際に実行するための計画として、4月から第二次総合計画を定めて、市全体とし

て活性化になるように取り組んでいるところである。詳細は省きますが、地区ごとにどうするという計画にはなっていない。全体として、市全体が豊かになるよう笑顔あふれるような市にしていきたいと目指しているところである。地区ごとで幸せが得られるところはなかなかないと思う。それぞれが部分的に共有しながら、役割を担いながら、地域が発展していくという、その姿が一番今後の目指す方向になっていくだろうと思っている。

○出席者

私たちは、あなたが言っていることの実現のために、保育所がそういった目的のためにあるものではないけれど、地域にはぜひ必要なものですよと言っている。それをあなたがたが考えていただいて、そんなものじゃないですからと言ったら、否定的な意見になる。

◆岩本部長

そういったご意見は、十分把握している。

○出席者

だから、考えてくださいとお願いしている。

◆岩本部長

そこは、持ち帰らせていただきたいと思う。あと災害、浸水の問題である。これまでに県の改修工事をずっと進めてきた。当然、災害対策というものは、一定の基準に基づいて、それに適合するようにやっている。国に基づいて対策をしているのが現実。想定外のことが起こって、基準がどんどんあがってくる状況となるのは確かである。ただ実際に事業をやるにあたっては、この基準をどうしても尊重しなくてはならない。その基準のもとに最大限の安全対策をしていきたい。ただ確かにあの場所はまだ不安がぬぐいきれないと言うのは正しい気持ちだろうと思う。基本設計の中で、なにか別の対策をもりこめないか、今鋭意検討しているところだ。最終的に発表できる段階になるまで、もう少しお待ちいただけたらと思う。

○出席者

それで、先ほど課長が協議会を設けると言われたので、ぜひうちの方から委員を1人だしていただきたい。公募でも何でも結構です。

◆川崎課長

市の関係課で協議するということです。

○出席者

意見を取り入れてくれませんかと申しました。

◆川崎課長

ご意見、皆様の心情、お気持ちは十分受け止めて持ち帰らせていただき、跡地利用の協議の場では、きちんと伝えたいと思っている。

○出席者

地震に対しての津波は考えていないのですか。

◆岩本部長

南海トラフに伴う浸水規定は駅南地区にはなかった。

○出席者

ここ何年かで起きうる可能性は、高くなっている。全くそういうのは頭に入れてないのか。

◆別府課長補佐

市が作成しているハザードマップは津波と洪水、高潮等がある。津波のハザードマップは南海トラフを想定しているが、駅南は浸水する区域には指定されていない。

○出席者

東北大震災と同等の地震が、中国地方、太平洋側で起こった場

合に津波はどこまで上がるか知っているか。津波は湯ノ峠駅まで
かけ上がる。あの高さまでいくとすれば、駅南は水没する。

○出席者

今から建てるのであれば、高台に建てた方がより安全ではない
か。役所は、災害が起きてから動くパターンである。人が園児が
死ぬ、そういうことが起きてからしか動けないのか。

○出席者

役場も被災する。あなたたちも被災する。そこを頭に入れてく
ださい。

◆藤山部次長

意見として、よろしいか。

○出席者

はい。

○出席者

地元のみなさんは、いろいろ寂しい想いが多々あり、安心安全
の問題はいろんな意見があると思う。どのような結論に最終的に
なっていくのか、まだまだ不透明な部分がある。明確な答えをい
ただいていない状態だと思っている。跡地利用の話も跡地の活用
についても明確な回答がないが、ぜひ地域の声を大切にしてもら
い、跡地活用についてももしっかり取り組んでもらいたいことを強
く要望する。

◆藤山部次長

事務局として、今日いただいた意見は必ず関係部署に伝える。

○出席者

この再編について、今日の会議だけでこれだけの人が集まって
いる。これをなぜ早くしていただけなかったのか。保育園の保護
者は再編整備が出来た平成33、34年には、みな卒園されてい

ると思う。そういう方を集めてやっておられるみたいだが、今日
みたいにこれだけの人間が集まっている。もう少し早くから私たち
の意見を聞いていただきたかった。

6 閉会あいさつ